

川の汚染度チェック

ねらい 池や湖の透明度の測定というのと、とても難しい感じがしますが、実はとても簡単に出来るということを感じましょう。

時間 半日以内

場所 川・海

人数 何人でも

季節 春・夏・秋・冬

用具 網（目が2から3mmの細かいもの）水槽、ピンセット、虫眼鏡、ノート（記録用紙）
川に入れる服装、指標となる生物図鑑、地図

手順

1. 生き物を傷つけないように、水中にいる生物、流れてきたものや浮き上がってきたものなども含めて網で取り、水槽に入れます。ゴミなどは取り除きましょう。
2. どのような生き物がいるのか虫眼鏡で観察し、ノートにスケッチするなどし記録をつけましょう。紛らわしい生物もいるので注意が必要です。
3. 記入が済んだら生き物は川に帰してあげましょう。
4. 生物の種類によって、きれいな水、少し汚れた水、汚い水、大変汚い水、の4階級に分けられます。
5. 図鑑をもとに生物を分けてみましょう。
6. 分けたら、なぜ川が汚れてしまうのか話合ってみましょう。

7. 地図に結果を書き込んでいき、いろいろな場所でも調べてみましょう。

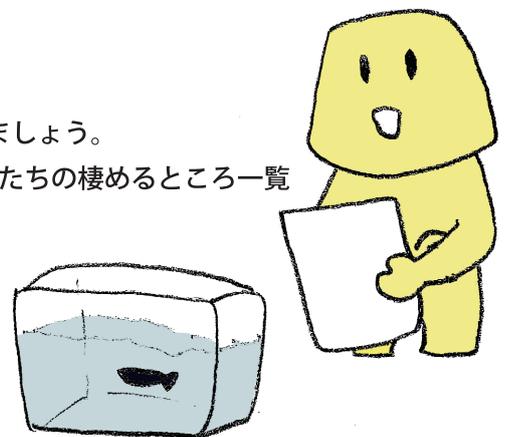
汚れ具合によって、色分けすると結果がよくわかります。魚たちの棲めるところ一覧

きれいな水・・・ヤマメ、ニジマス、イワナ、サワガニ

ややきれいな水・・・アユ、カワニナ、ウグイ

きたない水・・・フナ、コイ、ドジョウ、タニシ

大変きたない水・・・フナ、コイ、アメリカザリガニ



ポイント

石は滑りやすくなっているので注意が必要です。ビーチサンダルは避け、汚れても良いスニーカーを履きましょう。場所を変えても調べてみましょう。